

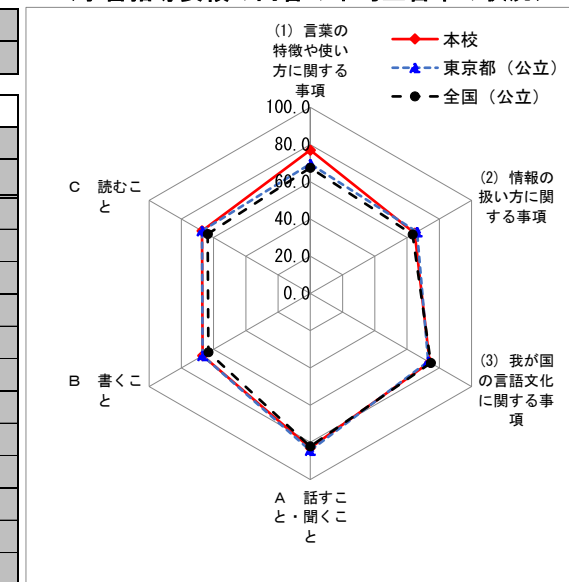
・以下の集計値／グラフは、令和5年4月18日に実施した調査の結果を集計した値です。

集計結果

対象生徒数		江戸川区立松江第一中学校	東京都（公立）	全国（公立）
		200	71,460	892,738

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（％）			
			本校	東京都（公立）	全国（公立）	
全体			15	73.0	72.0	69.8
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	77.0	69.6	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	64.8	66.2	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	74.0	73.1	74.7
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	83.0	84.4	82.2
		B 書くこと	2	66.8	66.8	63.2
		C 読むこと	4	67.2	67.2	63.7
		知識・技能	7	70.1	70.1	69.4
評価の観点	思考・判断・表現	9	72.9	72.9	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
	問題形式	選択式	7	75.9	75.9	73.1
短答式		4	65.6	65.6	65.6	
記述式		4	70.8	70.8	68.0	

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



現状把握（調査問題から見た課題）

【知識及び技能】(2)情報の扱いに関する事項

【思考力、判断力、表現力等】A話すこと・聞くこと

以上の2項目において、都や全国の平均正答率を下回っている。

項目別に見た際に、(1)言葉の特徴や使い方に関する事項に関しては都の平均正答率を大きく上回っているため、持っている知識を活用しながら情報を精査し、表現すること及び、意図を汲み取る力が弱いと考えられる。

指導改善のポイント

・ 単元ごとに振り返り、まとめ課題を実施

→記述式の課題に取り組むとともに単元の振り返りを行うことで、自己の内省を図るとともに、知識と情報の活用をする場面の設定をする。

・ 話すこと・聞くことにおける指導の工夫

→弁論やプレゼンテーションに関する単元について、伝える情報の選択をさせながら聴衆に合わせた内容や表現の発表を構築させる。聴衆側の活動として、発表内容の要点をまとめ、発表者の考えとの差異について比べさせる。それによって相手の意図を汲み取り聞き取る力を醸成し、思考力・判断力・表現力の育成に繋げていく。